

先生¹³⁾、ラットのバター・イエロー肝癌の木下良順先生、癌悪液質研究の中川諭先生なども居られます。その伝統を受け継いで、北海道には癌を研究する人材が多いのは特筆すべきことです。一例を挙げると、日本癌学会の評議員の数は、国立がんセンター1位、東大医学部（東大医科研を含む）2位は当然として、札幌医大は愛知県がんセンターと並んで3位なのです。願わくは、量、質ともに、偉大なる先達の名を辱めない多くの優れた業績が北海道から出てほしいと思います。

参考文献

- 1) 日本病理学会：日本病理学会誌. 102:141-156, 2013
- 2) 大野精七伝記編集委員会編：大野精七のあゆみ、大野精七先生顕彰会. 1981
- 3) 山極勝三郎、市川厚一：上皮性腫瘍の発生要因に関する実験的研究（第2報）. 東京医学雑誌 31:277-311, 1917
- 4) Yamagiwa, K. u. Ichikawa, K.: Experimentelle Studie über Pathogenese der Epithelialgeschwülste II. Mitteil. Med. Fakult. Kaiserl. Univ. Tokyo 17: 20-64, 1917
- 5) Yamagiwa, K. u. Ichikawa, K.: Über die künstliche Erzeugung von Carcinom IV Mitteilung, Gann 11: 12-26, 1917; Verh. Jap. Path. Ges. 7: 1-5, 1917
- 6) 山極勝三郎、大野精七：鶏腹腔内腫瘍就中癌腫の知見補遺. 日病誌6: 687-692, 1916; 癌10: 150-151, 1916
- 7) 山極勝三郎、大野精七：鶏輸卵管上皮性腫瘍の人工的発生に関する実験的研究. 癌12: 33-48, 1918; 癌12: 187-188; 日病誌8: 514-527, 1919
- 8) Yamagiwa, K. u. Ohno, S.: Über des Resultat des Experimentes zur Erzeugung der Epithelialgeschwülste aus dem Hühner-eileiter. Gann12: 3-9, 1918
- 9) 小高 健：世界初の人工発癌に成功した山極勝三郎. 学会出版センター、2006
- 10) 菅野晴夫：山極勝三郎- コールタールによる人工発癌. 医学のあゆみ207:103-106, 2003
- 11) 山極先生人工癌五十周年記念会：山極先生タール癌50年（座談会）. 医学のあゆみ53:90-96, 198-207, 1965
- 12) 吉田富三：吉田富三医学論文集(1) 癌の実験的研究と細胞病理学. 形成社、1981
- 13) Kon, Y.: Über Leukemie beim Hühn. Virch. Arch.190. Bd. 1907

北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

投稿要領

1. 原稿の締切
毎月10日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。
2. 原稿の体裁と字数制限
(1) 原則として横書きといたします。
(2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
(3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
(4) 1回の掲載紙面は、原則として2頁を限度とします。医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。
(5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。
3. 原稿の訂正、返却
次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。
(1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
(2) 匿名の投稿
(3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの（二重投稿）
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
(4) その他掲載に支障がある内容
4. ホームページへの掲載
特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課
TEL 011-231-7661 FAX 011-252-3233
E-mail: ihou@m.douji.jp